

南の国の真夏に 挑む体験の旅

「沖縄で学んだこと」



北落合小学校
佐々木 涼

私は、「平和」というテーマをもって沖縄に行きました。まず、平和の礎では、石ひにたくさん名前が刻まれています。私は礎を見て、「戦争でこんなに人が死んだ」と思うと悲しくなりました。次に平和祈念資料館へ行きました。そこで、戦争の映像を見ました。殺されていく人達を見て、悲しくなったり怖くなったりしました。写真では、小さい子が死んでいるのを見ました。「こんな小さい子が、なぜ死んでしまうのか。」と憤りました。ガマのレプリカにも入りました。とても小さくて、苦しくなりました。

ひめゆりの塔にも行きました。体験者の話をモニターで見ました。聞いているだけでもとてもつらかったです。体験者の日記も見ました。読むだけでも背中がゾツとしました。



△ひめゆりの塔前で平和を誓う

た。ガマであったことや空しゅうのことが書いてありました。死んだ人の写真も見ました。「もしも生きていたら、今も、写真のように笑っているの。」と思いました。私は、戦争がどれだけ悲惨かがよくわかりました。

私は、平和は、「みんな笑顔です。」と伝える。「みんな仲良く過ごせる。」と伝えたいです。そのため、争いをしないことが大切だと思います。他に、思い出に残っている



△熱帯ドリームセンターで南国の花をバックに

のは、美ら水族館とホームステイです。美ら水族館では、ジンベエザメを見ました。すごく大きくて、子供が10人以上乗れそうでした。他にも、北海道にはいない魚が、たくさんいました。水そうも大きくてびっくりしました。とても楽しかったです。

ホームステイでは、仲村友花さんの家に泊まりました。着いたら、スーパーに行って夜ご飯を買いました。次に、

「夜は涼しいかな」と思ったけれど、夜も暑くて、「おしおし」としていました。二つ目はバナボートのことです。私は、8人乗りのバナボートの一番前に乗りました。何回も顔に水がかかったり、ボートからふりおとされそうになりました。その後、海岸で夕食を食べたり、アロエを顔にのせて、ちんさんと一緒に記念写真を撮りました。

三つ目はホームステイのことです。私は「上地真子」さんの家族の方にお世話になりました。「海」に行ったり、「花火」をしたり、「星」を見に行ったり、とても楽しく、今でもその風景なども覚えていています。



幾寅小学校
酒井 麗奈

私は、南の国の真夏に挑む体験の旅がとても楽しかったです。思い出に残る体験でした。その中から四つ書きます。一つ目は沖縄の気候のことです。

沖縄行きの飛行機から出た瞬間、「おわあ〜」とした空気が私をむかえました。沖縄は、思ったよりずっと暑くて、「おしおし」していました。



△バナナボートで南国を満喫



△差し入れのアロエで日焼けのケア

景なども覚えていています。四つ目は戦争のことです。最初、私は「不景気を理由に戦争をするのは仕方ない」と正直少しく思っていました。でも、「ひめゆりの塔」や「平和の礎」「平和祈念資料館」などに行くと、「なぜ人の死より、土地を選ぶ？」「なぜもっと早く日本は降伏しなかったんだ！」という気持ちになりました。もし、もっと早く降伏していれば、こんなにも人が命を落とすことはなかったかと思えます。今の日本は、「不景気」だ。とかいうけれど、それでも「平和」だと思います。

私はこの四泊五日の旅で、たくさん体験し、たくさん学びました。また沖縄に行きたいです。

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は、今年で22回を数え「南の国の真夏に挑む体験の旅」として、6月25日から29日までの日程で町内5校の小学6年生29名と随行5名が本部町を訪れ、南国沖縄の暑さと文化を体験しました。参加した児童の思い出を、感想文で紹介しします。



△1日目の歓迎会で空手を披露

友花さんのおばあさんが営んでいる貝のお店に行きました。そこで、貝のネックレス、ストラップ、琉球ガラスが入っているピンを買いました。夜は、パーベキューと花火をしました。とても楽しかったです。行く前は、すごく不安だったけど過ごしているんだん楽しくなりました。友花さんたちと過ごした時間は、とても楽しかったです。

最後にずいぶんの方々、私達の事を見てくださりありがとうございました。本町の皆さん、色々案内などをしてくれてありがとうございました。沖縄での体験は、とても素晴らしいものになりました。この経験を生かして、学校生活やこれからの生活もがんばりたいです。



「真夏に挑んだ沖縄の旅」
落合小学校
笠原 空

いです。その時は、もっとゆつくり、いろいろな場所に行きたいです。

「沖縄での体験を通じて
思い出に残ったこと」と
幾寅小学校
辻澤 悠斗

6月25日。今日から沖縄に行っているような体験をしにくいんだとわくわくしてバスにのりこぼ。そしてあつというまに沖縄についた。と中のりかえ昼食があつたけれどあまり気にはとまらなかった。

ホテルにとまり、二日目もいろいろな体験をした。三日目になって、いよいよ楽しみにしていた熱帯ドリームセンターと美ら水族館を見学できる日でした。まずは熱帯ドリームセンター。いろいろな植物があつた。中でも、本で見かけたことのないタコの木やオオオニバスをここで見るのができた。他にも、ハイビスカスなど沖縄ならではの植物がたくさんいた。ウツボカズらは、国語の学習で調べてみたことがあつたけれど、こんなに大ききでこんな色をしているんだなあと改めて学習した。パニアという植物は、写真や見た目から想像できない本場にパニアのにおいがした。



△ちゃんばるガラス工芸で琉球ガラスコップ作製体験

カズらなどのふしぎな植物も見れてとても楽しかったです。次にその中の美ら水族館に行きました。ジンベエザメはとて巨大で優雅でした。あと、きれいな熱帯魚やナショナルマンタ、目の下がるカカリキンメダイなどもとてもきれいな魚がみれてよかったです。海洋博公園では北海道との生物のちがいについて学ぶことができました。

三つ目は、ホームステイです。ホームステイ先の家族には、沖縄の料理を食べさせてくれたり、いろいろな話をしてくれたりなどとても親しくしてもらいました。ホームステイ先の友達と一緒にゲームをしたりして楽しかったです。ホームステイ